

塾生
募集

アーティストが地域に入り、観察して、そこでしかできない作品を構想する力を瀬戸内国際芸術祭の手法から学ぶプログラムです。

令和6年度

瀬戸内アート塾

—— 瀬戸内国際芸術祭若手芸術家育成プログラム ——

瀬戸内国際芸術祭の会場となっている島々を舞台に、地域型芸術祭の潮流を知る座学から、

地域のフィールドワーク、観察や発見を作品構想までつなげて思考します。

講師や参加者との対話でアイデアが深まる数日間を体験しませんか。

概要

[開催期間] 2024年7月17日(水)～7月26日(金)計10日間

[募集人数] 15名程度

※応募者多数の場合は選考を行います

[受講料] 5万円(税込み)

※行程内の交通費・宿泊費・一部食費を含む

[参加条件]

39歳以下で香川県内において制作活動を行っている又は今後希望する方

[応募想定]

芸術活動(美術・音楽・舞台・建築・デザイン・食)又は芸術作品の成立にかかわる活動を行っている方(始めようとする方)で、瀬戸内国際芸術祭をはじめとした地域型芸術祭が掲げる趣旨を理解し協働する意思のある方

プログラム内容

Day1
7/17

ディレクター
講義
(高松)

Day2-9
7/18～7/25

アーティスト講義
フィールドワーク
ワークショップ
(各島)

Day10
7/26

ディレクター
講評

※7/26はクロージング

応募方法 下記QRコードから必要事項を入力しご応募ください。

受付期間:2024年6月11日(火)～6月26日(水)

必要事項

- 基本情報(氏名、性別、連絡先等)
- プロフィール(600字以内)
- 参加動機(将来目標/800字以内)
- 参考資料 ※任意(PDF形式/A4サイズ5枚以内/100MB以内) ※映像不可



講師

photo by Mao Yamamoto



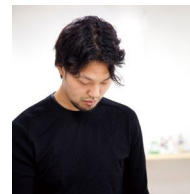
北川フラム

1946年新潟県高田市(現上越市)生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。アートによる地域づくりの実践として「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2000～)、「瀬戸内国際芸術祭」(2010～)、「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス」(2014、21)、「北アルプス国際芸術祭」(2017～)、「奥能登国際芸術祭」(2017～)で総合ディレクターをつとめる。



豊福 亮

1976年東京都生まれ。アーティスト。2000年株式会社OfficeToyofuku創設、千葉美術予備校創設、学校長就任。美術に関わる人材の育成に取り組む一方、芸術祭を中心として自身の作品を展開。大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(2006、09、12、15、18)、神戸ビエンナーレ2007、瀬戸内国際芸術祭(2010、13)参加。



村山悟郎

1983年東京生まれ。美術家。東京大学比較文学比較文化客員准教授。博士(美術)。2024年現在、武蔵野美術大学映像学科・東北芸術工科大学大学院・非常勤講師。自己組織的なプロセスやパターンを、絵画やドローイングをとおして表現している。あいちトリエンナーレ2019、瀬戸内国際芸術祭(2019、22)参加。

※その他複数名調整中

[問い合わせ]

瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局

〒760-0019 香川県高松市サンポート1番1号高松港旅客ターミナルビル3F

Mail:artclass@setouchi-artfest.jp Tel:087-813-0852

主催:瀬戸内国際芸術祭実行委員会

企画・運営:株式会社アートフロントギャラリー、NPO法人 瀬戸内こえびネットワーク